

「水」ものがたり

～ 駅から始まる「水」物語 ～

vol. 1 安治川トンネル

～大阪の近代を物語る、貴重でかつ知られざる文化財～

歴史

古くは、水都・大阪の主要水路として賑わった安治川。
その兩岸を結ぶ渡し船のひとつに、「源平渡し」という渡し船がありました。（「源平渡し」の名は、今も交差点名として残っています。）その後、1873（明治6）年に旋廻橋^注が架けられました。1885（明治18）年に発生した大洪水によって、旋廻橋は崩壊してしまいました。

昭和に入って、市内の車両通行量が増してきたことから、「安治川隧道」が計画に持ち上がり、1944（昭和19）年9月に俗に言う「安治川トンネル」が完成しました。

【注】「旋廻橋」

船が通過する際、川の中央の橋桁を軸に、橋が旋回するもの。

概要

兩岸とも、エレベーターもしくは階段で約17m河底に降り、河底を通過して地上に出るもので、完成当初は、歩行者用・車両用がそれぞれありましたが、車両用は1977（昭和52）年に廃止され、現在に至っています。大阪の近代を物語る、貴重な文化財のひとつと言えます。



安治川トンネル入り口

ここ、安治川トンネルのすぐそばでは、阪神電車西大阪延伸線（阪神電車西九条駅～近畿日本鉄道難波駅）の建設工事が急ピッチで行なわれており、同線が開通するであろう数年後には、この辺りの風景も大きく様変わりしてしまうことでしょう…。



安治川トンネル内部

- 【営業時間】 24時間通行可能
（ただし、兩岸のエレベーターについては、5/1～10/31は6時～23時、それ以外の時期は6時～22時のみ使用可能。）
- 【アクセス】 ・地下鉄中央線「九条駅」3号出口から商店街を経由して徒歩約10分
・市バス84系統・赤バス（西ループ）「安治川トンネル前」バス停すぐ
・赤バス（此花ループ）「安治川トンネル北」バス停すぐ
・JR大阪環状線・JRゆめ咲線「西九条駅」から徒歩約5分
・阪神電車西大阪線「西九条駅」から徒歩約5分
- 【休業日】 なし
- 【お問い合わせ】 大阪市建設局 西工営所
Tel. 06-6576-0761（代）
- 【住所】 西区安治川1-2
此花区西九条1-37 周辺

